

## 一般社団法人国連ユニタール協会 2022 年度事業報告書

### I) 概要

- 前年度の募金の研修プログラムとしての実現や、当該年度のキャンペーン等、寄付を募り国際協力に資する団体としての役割を強化
- 国連ユニタールとの研修の実施協力が拡大
- 大学や市民団体等との新たな連携協力の形を進め、パブリシティを獲得
- コロナ禍によるオンラインでの事業から、ハイブリッドや対面での事業に緩やかな移行

### II) 公益目的事業 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

#### 1. 募金キャンペーン等による緊急支援への参画

##### a. アフガニスタンの女性起業家のためのワークショップ

- i. 日時・場所：4 月 16 日～4 月 23 日・アフガニスタン・カブール
- ii. 主催者：国連ユニタール広島事務所・モラー教育センター（アフガニスタン）・国連ユニタール協会
- iii. アフガニスタンの女性起業家 25 名がデジタルマーケティングや事業経営などについて実践的に学ぶ研修を開催。前年度当協会が実施した緊急募金キャンペーンで得た 813,447 円から事務手数料を差引きモラー教育センターに送金し、実現した。4 月 14 日に同センターで主催する三者の連携を確認する式典が開催され、協会及びキャンペーンに賛同いただいた個人・団体への謝意が示された。

##### b. 緊急募金「広島からウクライナの人々へ」

- i. 日時・場所：4 月 13 日～5 月 31 日・募金プラットフォーム Syncable など
- ii. 主催者：国連ユニタール協会
- iii. 30 名の個人、5 団体から計 805,058 円が寄せられ、ウクライナからの難民を最も多く受け入れているポーランドを拠点に人道支援にあっている国際 NGO「Polish Humanitarian Action(PHA)」に事務手数料を差引き送金。同 NGO のプロジェクト「SOS Ukraine」に充てて頂いた。キャンペーンに先立ち開催した記者会見では、同 NGO の Inez Jaworska 氏がオンラインで参加し現状を報告。支援者の多くは今回初めて当協会への寄付を行ってくださっており、広島市立中広中学校が校外教育活動で得た収益の寄贈先として選んでくださった事例もある。

- c. ウクライナ支援チャリティイベント
    - i. 日時・場所：7月8日・おりづるタワー
    - ii. 主催者：国連ユニタール協会
    - iii. 広島市出身のアーティスト原田真二氏ご賛同のもと、音楽を通じたチャリティイベントを実施。110名余りが参加した。36万円を超える収益は、国際NGO「Polish Humanitarian Action(PHA)」に送金。
2. 国連ユニタールによる研修プログラムへの実施協力
- a. 2022年度国連ユニタール広島青少年大使育成プログラム
    - i. 日時・場所：7月31日～8月21日・広島市内（ハイブリッド）
    - ii. 主催者：国連ユニタール広島事務所・国連ユニタール協会
    - iii. 公募により選ばれた広島県内の中高校生48名が「自分たちが暮らす街を、SDGsのレンズを通して見つめることを通して、理想の街・自分にできる行動について考える」ことをテーマに学び合った。専門家からの指導に加え、株式会社良品計画によるセッションの開催や、最終発表会に株式会社広島ドラゴンフライズや三菱地所レジデンス株式会社からも講評者をお招きするなど、民間との連携も重視。重層的な学びの機会の提供に貢献した。
  - b. 核軍縮不拡散研修
    - i. 日時・場所：2023年2月13日～17日・広島市内（対面）
    - ii. 主催者：国連ユニタール広島事務所・国連ユニタール協会
    - iii. アジア10か国の外務省、防衛省等の若手実務者18名が広島を訪れ1週間のワークショップに参加。2022年に行われた核拡散防止条約(NPT)再検討会議や核兵器禁止条約第1回締約国会議の振り返りを含めた昨今の情勢を学び、最終日には、核軍縮での世界的な交渉現場を模したロールプレイングを行った。広島市内の視察等によるヒロシマについての学びの多面化や公開セッション（次項）の実施、お好み焼き体験を通じた文化交流などに貢献したほか、研修生の渡航手配の補助など研修の後方支援にも加わった。
  - c. 公開セミナー：核軍縮・不拡散の今 2023年の予想図
    - i. 日時・場所：23年2月18日・広島国際会議場
    - ii. 主催者：国連ユニタール広島事務所・国連ユニタール協会
    - iii. 元国際原子力機関懸賞安全保障政策課長・タリク・ラウフ氏、マイクロソフト社アジア太平洋デジタル外交チームディレクター・マイケル・カリミアン氏、NPO法人ANT-Hiroshima理事長、グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ共同創設者・渡部朋子氏、国連ユニタール持続可能な繁栄局長兼広島事務所長・隈元美穂子氏が登壇し、軍縮交渉や国際情勢における課題と現実、行動の機会について議論。約60名が参加した。

### 3. アンジュヴィオレ広島（特定非営利活動法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ）・広島市立大学との連携事業

#### a. アンジュヴィオレ広島（特定非営利活動法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ）、広島市立大学、国連ユニタール広島事務所、国連ユニタール協会が「Peace match プロジェクト=いちだい地域共創プロジェクト」を実施

##### i. ピースマッチプロジェクト（9月11日・東広島、10月27日・広島平和記念公園）

「誰もが自由にスポーツに取り組める世界」をテーマに、選手からのメッセージを視聴できるQRコードなどを織り交ぜたチラシをアンジュヴィオレ広島対朝日インテック・ラブリッジ名古屋戦でサポーター・関係者に配布し、折り鶴づくりに参加頂いた。集まった折り鶴は原爆慰霊碑に奉納した。

##### ii. オンラインセミナー（10月22日・オンライン）

大阪大学の岡田千あき教授・アンジュヴィオレ広島の渡谷祥乃選手・国連ユニタール親善大使の為末大氏・元アフガニスタン女子代表サッカー選手のハジャル・アブルファザル氏が、スポーツと平和・開発をテーマにディスカッション。紛争地域での和解や異文化コミュニケーションを促進するためのスポーツ、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献などについて語り合った。53名が参加した。

##### iii. スポーツ・フォー・トゥモロー・カンファレンス 2023（スポーツ庁委託事業 日本スポーツ振興センター スポーツ・フォー・トゥモロー事務局主催）（2023年3月2日・ハイブリッド）

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）・カンファレンス 2023～新しい、スポーツ×国際交流・協力の可能性。ムーブメントから協創へ～（スポーツ庁委託事業 日本スポーツ振興センター SFT事務局主催）において、SFTコンソーシアムに所属する団体の中で、他団体にとっても参考となる事業を行った団体として、広島横川スポーツ・カルチャークラブがスポーツ庁長官より感謝状を受けられた。本連携事業が評価されての表彰とのことで、同クラブやカンファレンス事務局からご案内いただいた。

### III) 会議

日程	会議	議題	承認 状況
2022年 6月1日	2022年度第1回 理事会	第1号議案 2021年度財務諸表等承認の件 第2号議案 個人情報保護規程改定承認の件 第3号議案 賛助会員退会届書式承認の件	承認
6月3日	2022年度第1回 定時社員総会	第1号議案 2021年度財務諸表等承認の件 第2号議案 個人情報保護規程改定案承認の件 (※) 第3号議案 賛助会員退会届書式承認の件	承認
11月11 日	2022年度第2回 理事会	第1号議案 2022年度追加事業計画案承認の件	承認
2023年 3月24日	2022年度第3回 理事会	第1号議案 2022年度事業計画案承認の件 第2号議案 2022年度収支予算書案・資金調達及び 設備投資の見込み案承認の件 第3号議案 一般社団法人国連ユニタール協会名誉 顧問の再任の件	承認
3月31日	2022年度第2回 社員総会	第1号議案 2022年度事業計画案承認の件 第2号議案 2022年度収支予算書案・資金調達及び 設備投資の見込み案承認の件 第3号議案 一般社団法人国連ユニタール協会名誉 顧問の再任の件	承認

※個人情報保護規程に関し、基本的事項を定め、その適正を図ることを目的として定められており、2022年6月1日実施の理事会にて改定の承認を受けた。

### IV) 広報・その他

#### 1. ニュースレター発刊

- 10月7日：第4号発刊

#### 2. 講師派遣

教育機関や非営利法人等から依頼を受け、20件の講師派遣を実施。主な内容は以下の通り。

日程	依頼元	内容	参加者数	担当講師
2022/5/24/ 2023/3/1	株式会社 日建設計	環境省/地球環境局令和4年度沿岸 防災 NbS 政策意思決定手法	約 30	島津 /Crichton
2022/6/17	広島大学 教育室 WWL コンソーシアム 構築支援事業 事務局	広島大学ワールドワイドラーニン グコンソーシアム構築支援事業主 催のオンラインセミナー	1,089	隈元
2022/6/20	東京海上ホールディ ングス株式会社 人事 部	Tokyo Marine Group Women's Career College	約 100	隈元
2022/7/5	へいわ創造機構ひろ しま	国連ハイレベルフォーラム	約 2000	(録画)
2022/8/7	公益社団法人 吹田青 年会議所	国際交流事業「世界をもっと知ろ う」	22	島津
2022/9/25	広島ユネスコ協会	第 181 回広島ユネスコ講演会 (ユ ネスコサロン-世界遺産の現状と展 望	約 100	島津
2022/11/30	広島県	国際平和拠点ひろしま構想推進委 員会	8	隈元
2022/12/11	広島ユネスコ協会	高校生国際理解セミナー	約 50	Nassrine/ 島津
2022/12/20	笹川財団	平和学習 (UNITAR の概要, 広島 の復興の歴史, 被爆者証言 (小倉桂子 様))	11	Shams
2023/1/16	亜細亜大学	インターナショナル・フォーラム	98	隈元
2023/2/7	呉南ロータリークラ ブ	呉南ロータリークラブ例会	38	隈元
2023/2/13	広島大学 教育室 WWL コンソーシアム 構築支援事業 事務局	持続可能な未来 美しい環境	約 50	隈元

### 3. 後援申請受付

4月29日・30日「Sustainable Department ひろしま」主催：株式会社ソアラサービス

V) 国連ユニタール持続可能な繁栄局・広島事務所の 2022 年度の主な活動

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダーエンパワーメントプロジェクト（オンライン：ヨルダン・レバノン）開始</li> <li>・広島ドラゴンフライズと協力覚書を締結</li> <li>・女性の経済的自立のための研修開催（アフガニスタン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界経済フォーラムで社会起業家のためのグローバル・アライアンスに加入（シュワブ財団）</li> <li>・貿易・食料安全保障・栄養に関する研修を FAO と共催</li> <li>・ Sarah Anyang Agbor 教授が持続可能な繁栄局諮問委員に就任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカ経済開発アラブ銀行(BADEA)との気候変動への対策に関する研修（ザンビア、ジンバブエ、タンザニア）</li> <li>・内陸開発途上国のためのシンクタンク（ITTLDC）との協力覚書締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラク、エジプト、レバノンの若手起業家のための研修開始</li> <li>・津波防災に関する女性のリーダーシップ研修開始</li> <li>・青少年大使プログラム（アジア太平洋地域・広島）開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Power of Youth from Hiroshima（アントニオ・グテーレス国連事務総長と若手活動家の非公式な意見交換）開催（広島）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニタール総代表ニキル・セスの訪日（林外務大臣、寺田元総務大臣と面会）</li> <li>・核軍縮に関するオンラインイベント開催（国際平和デー）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>10 月</li> <li>・持続可能な繁栄局諮問委員会開催（ジュネーブ）</li> <li>・立命館アジア太平洋大学（APU）との協力覚書締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11 月</li> <li>・東アフリカの女性起業家のための研修（IGAD 主催、UNDP・ユニタール共催）</li> <li>・ラウンドテーブル（オンライン・UNCTAD 共催）</li> <li>・グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアチブによる米国の専門家受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12 月</li> <li>・BADEA との気候変動に関する新たな研修の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 月</li> <li>・核軍縮不拡散研修及び公開セッション（広島）</li> <li>・イラク、エジプト、レバノンの若手起業家のための研修のワークショップ（広島）</li> <li>・北アフリカの政府職員を対象とする FAO との共同コース開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 月</li> <li>・津波防災に関する研修のワークショップ（サモア）</li> <li>・FinTech に関するコンファレンス（オンライン）</li> <li>・AI と人権コースへの 20 言語の追加（ユネスコ・SALTO 共催）</li> </ul>



## VI) 当協会の体制

1. 理事及び監事：2023年3月31日時点で以下のとおりの構成である。

理事長（代表理事）： 佐々木茂喜氏

理事： 池田秀雄氏

湊晶子氏

小松節子氏

監事： 山本新太郎氏

2. 会員数(2023年3月31日時点)

正会員個人	5名（5口）
賛助会員個人	41名（62口）
賛助会員法人	25社（58口）

3. 主な寄付（会費納入、募金キャンペーンへの参加を除く）

- ・ 2022年5月24日 ソロプチミスト広島 3万円
- ・ 2022年6月29日 有限会社ダイイチ企業 10万円  
（広島銀行「私募債（SDGs型）」）
- ・ 2022年12月28日 大栄産業 10万円